

14年度の決算 28億8,862万円の使い道 見てください

決算は議会で認定

九月十八日から二十五日まで開かれた村議会定例会で、平成十四年度の決算が認定されました。「広報ふだい」七月号で、十四年度末までの財政状況を公表しましたが、今回は決算です。皆さんの納めた税金や国、県などからの補助金がどのように使われてきたのか。今月号ではそのあらましを紹介します。



14年度舗装された村道白井鳥居線。(直売所の前から白井方向に向けて1,542.5m) 主な事業のベスト1

村は村民の皆さんが納める村民税や固定資産税などの村税、地方交付税(国から市町村などの地方公共団体に交付されるお金)や国・県の支出金(村が行う事業に対しての国や県からの補助金)などを中心に予算を組み、産業の振

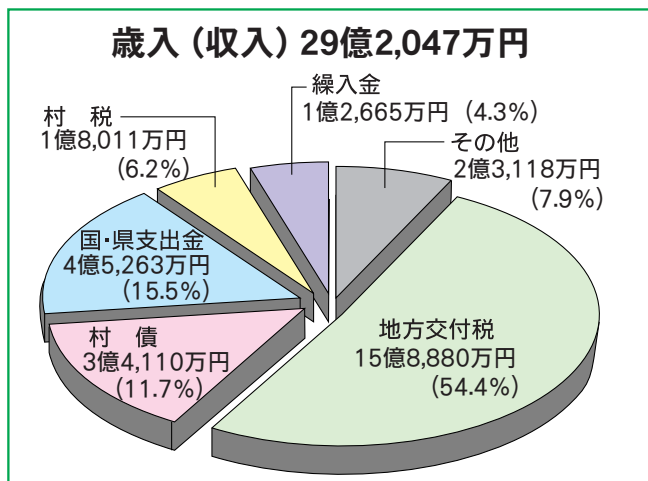
興、基盤整備、福祉の充実など村民の皆さんの生活向上、快適な環境づくりなどに取り組んでいます。決算は、一年間にどれだけのお金が村に入り、どのようなことに、どれだけ使ったかを集計しまとめたものです。

これは勝手に村で決めるものではなく、議会の認定が必要です。

膨らむ地方債残高

村の会計には一般会計と特別会計があって、それぞれ決算しています。

一般会計は村の基本的な仕事のためのもの(七ページ右下表目的別歳出の項目参考)です。十四年度の一般会計の歳入(収入)は29億2,047万円、歳出(支出)が28億8,862万円で3,185万円の黒字です。しかし、この黒字にはからくりがあります。それは、基金(貯金)を下ろして予算に繰り入れているので黒字なのですが、これをしてしまうと実際は赤字なのです。歳入の最も多いのが地方交付税で15億8,880万円(54.4%)、国・県支出金が4億2,663万円(15.5%)、村債(村が国などから借り入れるお金)が3億4,110万円(11.7%)、などとなっています。



歳入(収入)は29億2,047万円、歳出(支出)が28億8,862万円で3,185万円の黒字です。しかし、この黒字にはからくりがあります。それは、基金(貯金)を下ろして予算に繰り入れているので黒字なのですが、これをしてしまうと実際は赤字なのです。歳入の最も多いのが地方交付税で15億8,880万円(54.4%)、国・県支出金が4億2,663万円(15.5%)、村債(村が国などから借り入れるお金)が3億4,110万円(11.7%)、などとなっています。